

2019 年 7 月 1 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 4 戦タイ大会、Audi R8 LMS が 13 位完走

- 決勝レース 9 位でゴールにもかかわらず、レース終了後にペナルティをうけ 13 位に

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、Audi R8 LMS で 2019 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー（プライベート）チームをサポートしています。6 月 29 日（土）、6 月 30 日（日）、チャン・インターナショナル・サーキット（タイ・ブリーラム 1 周 4,554m）で 2019 SUPER GT 第 4 戦となる「Chang SUPER GT RACE」が開催されました。

Chang SUPER GT RACE は、現在年間 8 戦ある SUPER GT シリーズにおいて唯一、海外で行われる大会であり、タイでの開催は今年で 6 回目を数え、#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）の Audi R8 LMS が参戦しました。

例年スコールに見舞われることの多いタイの土曜日予選は、薄い雲に覆われながらも気温 33 度という暑いコンディションの中、スタート。まず予選 Q1 を富田竜一郎選手が担当しました。前半は思いのほかタイムがのびず苦戦しましたが、制限時間ぎりぎりのところで 15 位にジャンプアップし Q1 を突破。Q2 はリチャード ライアン選手がアタックに出ました。徐々に順位をあげ 9 位を獲得。決勝レースは入賞圏内からのスタートとなりました。

空には夏の雲が広がり、気温 33 度、路面温度 48 度と厳しい暑さの中、日曜日 15 時に決勝レースがスタート。第 1 スティントはリチャード ライアン選手がドライブしました。スタート直後、7 番手までポジションをアップ。その後は一進一退の攻防をみせながら 26 ラップを走り終えてピットイン。富田選手へとドライバー交代しました。ピットインによって失った順位を着実に挽回しながら周回を重ねていましたが、セーフティカーの投入によってレースは一時中断。勢いに水をさされるかたちとなりました。レース再開後も富田選手は諦めることなく追いつけをみせ、残り 2 周で前をいく 55 号車をパス。入賞圏内の 9 位でゴールしました。しかし、この追い抜きの際に前走車とは別に外側を走行していた周回遅れの車両との接触が指摘され、レース後に競技結果に対して 35 秒加算というペナルティが課されることとなりました。最終的にポジションを 4 つ落とし 13 位完走という結果となりました。

Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「ここタイでは去年予選 2 位、おとしはポールポジションととても相性のいいサーキットだけに上位を狙っていたと思っていました。ただし今年はライバルチームもペースアップしており、タイヤの性能などもあわせて総合的に考えトップ 6 を目標に戦略を立てていました。土曜日は、午前中の練習走行の段階ではいい状態でした。しかし、予選ではマシンのバランスがかわっていたようで富田選手は苦労しましたが、どうにか Q1 を突破してくれました。その後、すぐに調整して Q2 ではリチャード ライアン選手が 9 番手に入ることができました。決勝レースでは、珍しくリチャード ライアン選手が第 1 スティントを走りたいというので任せました。着実に周回を重ね、ほぼ予定通りの 26 周でドライバー交代。ピットワークに大きなミスはありませんでしたが、タイヤを二輪だけ交換するチームなどもあり、後ろにいたクルマに前に出られてしまう結果となりました。富田選手も最後は追いつけをみせてくれましたが、最終的にペナルティをうけるかたちで順位を失ってしまいました。残念ですが、気持ちを切り替えて次の富士にのぞみたいと思います。次のレースは 500km と距離も長く、長距離に強いアウディにとってはチャンスがあると思います。チーム全体で戦略を練って次戦に向かいたいと思います」

Audi Team Hitotsuyama リチャード ライアン選手のコメント

「今年はライバルチームも速くなっており、昨年一昨年のポールポジション、2 位といった予選順位は難しいものの、6 位くらいのパフォーマンスはあると想定していました。しかし決勝レースでは、ポジションをキープするのはいっぱいでなかなか順位をあげることが難しかったです。また、ピットストップのあと富田選手のスティントでセーフティカーが入ったがあれも我々のチームの戦略にとってはアンラッキーな結果となってしまいました。しかし、富田選手はいいドライブをしたし、チームもいい仕事をしたと思います。今回のレースではたくさん学ぶことがあったのでそれを活かして、富士ではいいパフォーマンスが見せられるようにがんばります」

Audi Team Hitotsuyama 富田 竜一郎選手のコメント

「予選は思っていたよりもパフォーマンスが発揮できなくてぎりぎりでしたけど、とにかく Q1 を突破することができて良かったです。タイはハイスピードコースで、ハードブレーキングで止めてから加速するようなコーナーが多くてストレートの速いクルマに向いているため、コーナーが速い Audi R8 LMS のようなマシンでは、直線の速いマシンを追い抜くのがとても難しい展開になります。最後まで諦めずにプッシュを続けて、残り 2 周でどうにか 55 号車の前に出ることができたのですが、結果的にペナルティを受けることになり、チームの皆さんには申し訳ないです。今年のマシンは長距離のレースに向いていると思いますし、次の富士では粘り強く表彰台を狙えるようなレースをしていきます」

次戦、SUPER GT 第 5 戦は、8 月 3 日（土）～8 月 4 日（日）、静岡県富士スピードウェイにて開催予定です。また、8 月 22 日（木）～8 月 25 日（日）、三重県の鈴鹿サーキットにて開催される「鈴鹿 10 時間耐久」レースにも、昨年に引き続き Audi Team Hitotsuyama が参戦予定です。